

アメリカアリゾナ州 森のイモムシ

横浜市立中丸小学校
佐藤 亜美

1 概要と作業内容

- (1) **調査地について**：調査地の the Southwest Research Station はツーソン空港から車で3時間ほどのところにある。周辺は岩山と森林だった。森林は針葉樹木がおおかった。周りに人家はなかった。
- (2) **調査気候**：私が行った8月は30度くらい気温があるが乾燥していて過ごしやすかった。夜は空気がひんやりしていて涼しかった。
- (3) **センターのスタッフと他のボランティアの方々**：P L（主任研究者）のリーと大学院生のクラークが研究や生活の指導をしてくださった。とても親切な方々だった。
参加したボランティアは11人で、9人がアメリカ人、1人がフランス人、あと2人が私たち日本人だった。高校の教師や大学教授、銀行で働いている方がいた。言葉は大変だったが、みんなとても親切な人ばかりだった。
- (4) **研究対象のイモムシ**：調査地周辺にいるイモムシ300種類。
- (5) **研究の目的**：イモムシとその天敵である寄生虫（ハチやハエ）の関係とその環境的要因を調べていたようだった。そのために、イモムシを集め、記録をした。また、イモムシを飼育した。
- (6) **ボランティアが行った活動・作業**
 - ① **イモムシ探し・住処の植物採集**
最初に、調べる場所を決める。植物のまわりにロープをはり、PLOTのナンバーを打つ。そのPLOTの範囲内の植物の下にシートを敷き、植物を棒でたたいてシートの上にイモムシを落とし、採集する。種類別にジップロックのような袋にイモムシと植物（えさになるので多めに）をいれていく。



②研究室での作業

大きく分けて中と外での作業がある。

中では採集してきたイモムシのデータをパソコンに入力し、整理する。

- ・イモムシの撮影（デジカメ）
- ・植物の種類を本で調べる
- ・データの入力

外ではイモムシの飼育や世話をした。

- ・イモムシの飼われているバッグの清掃
- ・イモムシの確認、更なる個体の確認



(7) 施設と生活

①施設

the Southwest Research Station では、女性は二つのグループに分かれて生活した。部屋には、ベッドと洗面所（トイレとシャワー）があった。シャワーは毎日入ることができた。ランドリーは Station の中にあり、自由に使えた。食堂も Station の中にあり、時間になると Station にいる人々が集まってきて食事をした。食事は

バイキング形式だった。

②生活

大まかな生活の流れを紹介します。

8月10日 出発。

成田空港で3時間の遅れはあったものの、成田→ダラス→ツーソンに着いた。ツーソンには現地時間で15時くらいについた。閑散としている空港だった。そのまま、ホテルから出ているバスに乗り、ホテルへ向かう。ロビーにはすでに二人、先に来ていた。夕方になるとみんな続々と集まってくる。その日は、メキシカンファーストフードの店でご飯を食べた。

8月11日 5時半おきで6時半に、ホテルのロビーから出発した。

午前中はワゴンに2時間くらい乗って、マウントレモンのふもとと頂上の2ヶ所へイモムシを取りに行った。まず、中心になる木を決める。その周りにロープを張ってプロットを決める。その範囲以内の木についているイモムシをとった。木の下にマットのようなものをひいて、その木を棒のようなものでたたいて落ちたイモムシを探した。サボテンだらけの山だった。午後は砂漠博物館に連れて行ってくれた。



8月12日 ホテルのロビーに9時半ごろ集合し、ツーソンから3時間半位車に乗ってロデオというところの近くのリサーチステーションへ行く。周りは岩山がたくさんあり、景色がきれいだった。

午後はラボラトリー《研修室》で少し作業をした。

夜のミーティングでこれからの事を聞いた。

- 8月13日 大きく二つのグループに分かれて作業をした。
私は、午前中は車に1時間ほど乗り、イモムシ探しをした。ここでも、サボテンやとげのある植物が多かった。2, 3種類のイモムシがいた。午後は、二人一組になって、リサーチステーションの周りのイモムシ探しをした。しかし、イモムシもお昼寝中か、まったく見当たらなかった…。
夜はナイトウォッチに連れて行ってくれた。ライトの近くに集まる虫たちを見ることができた。カブトムシも遊びに来た。それから、星もたくさん見えた。この夜だけで流れ星を5つも見た！！みんなで感動のひと時を味わった。
- 8月14日 この日は大きなグループの作業が逆になった。
午前は研究室でジップロックの中に入っているイモムシの数が、書かれているものと同じものかチェックしたり、さなぎや死んでしまっていないかを確認したりした。あと、デジカメでえさとイモムシ、その子のナンバーを撮影した。
午後は二人一組になって、リサーチステーションの周りのイモムシ探しをした。作業は15時には終わり、18時までには自由に過ごした。この日は、ディーと一緒に散歩をした。この辺りはバードウォッチングで有名らしく、鳥の観察をした。
- 8月15日 この日はフリータイムで **chiricahura** というところにみんなでハイキングにいった。4時間くらい歩き続けた。景色が最高にきれいだった！！
夜はみんなでお互いに取ったデジカメを見合って情報交換をした。
- 8月16日 朝、5時に起きて、何人かの人とバードウォッチングに行く。
朝だと昼間よりたくさんの鳥のさえずりが聞こえた。ここはハミングバードという種類の鳥が多く見られる有名な場所らしい。
この日は、午前は車に乗って1時間ほど移動して、イモムシ集め、午後は研究室の作業をした。私は、ひたすらイモムシの姿などを撮影した。大きくてゆっくりな子だと撮影がしやすいが、この日の子は小さくてすばしっこかったのでとても苦労した。
- 8月17日 午前は研究室でイモムシの撮影や世話をした。
午後は休憩だったのでバードウォッチングをしながら散策したり、プールに入ったり卓球をしたり、自由に過ごした。
この日は、19時に集まって夜にイモムシをとりに行った。蚊にたくさんさされた。帰りにロデオのバーによってくれた。

8月18日 午前は研究室での作業、午後は今までのまとめとしてミーティングルームで講義があった。

夜は、車で1時間ほどのところでキャンドルファイアをしてくれた。みんなで飲みながら炎をかこんだ。星空もとてもきれいだった。

8月19日 朝、荷物をまとめてシーツなどを片付けた。

朝食後、みんなの荷物をのせて出発した。途中、bisbee という観光地で休憩を取った。ここは、鉱山で有名な土地らしい。ここで昼食を食べたりおみやげを買ったりした後、はじめの日に行ったホテルへ戻った。

この日はリーのたまに行く有名なメキシコ料理の店へ連れて行ってくれた。大統領もきたらしい。

夜は何人かで飲んで最後の別れを惜しんだ。

8月20日、みんなそれぞれの場所に帰った。

2 体験を通して学んだこと・感じたことと教育への活用

(1) 調査・研究から

調査研究からは、今まで体験したことのないようなことをたくさん勉強させていただいた。まず、アリゾナ州についていままでまったく知らなかった。しかし、行って見て、夏場は乾燥しているが気温が高いことが分かった。イモムシに大きく関係する植物はとげのあるものが多く、こんなところにイモムシがすむのかと、とても興味深かった。どこへ行っても乾燥していたので植物が生えていること自体も不思議だったし、そこで生きる虫がいることもさらに不思議だった。

また、ボランティアの人々が、アリゾナが野鳥で有名なことを教えてくれた。特にハミングバードという鳥が有名らしく、バードウォッチングをしたり、早朝に森林の中を歩いたりした。食べるものや生態についても詳しく教えてくれた。さらに、植物に詳しい人も多く、今まで知らなかったことをたくさん吸収できた。

the Southwest Research Station の周りは自然だらけだったのでたくさんの種類の虫もみることができた。特に興味深かったのはバッタとトンボである。近くで見られたので観察ができた。野生の鹿も間近で見ることができた。

今、受け持っている3年生の理科で「昆虫の育ちとからだのつくり」の勉強をしている。学校に帰ってから、理科の授業で自分の撮った写真を使いながら昆虫の勉強をした。子どもたちはアメリカの昆虫の色の鮮やかさにとても驚きながらも関心を持って話を聞いていた。また、今回のボランティアの研究についても簡単に話をした。自分たちの知らないと

ころで植物と昆虫が交信をしていることにとても驚いたようだった。

職員の中でも、今回の体験について話をする機会を与えられた。自分の体験したことを話すことができた。

(2) センターの生活から

毎日の中でサイクルが決まっていて、自由な時間が多かった。好きなことに時間を使うことができた。自然の中に身をおいたり、ボランティアの方々と話をしたり、散歩したりする中で自分の時間を大切にすることができた。外国の方の、個人の時間を大切にするという考え方を学べた。

(3) 出会った人々から

このボランティアの体験を通して、私が一番後悔したことは、語学をもっと勉強しておけばよかった、ということである。しかし、それ以上にみんな親切で温かい方ばかりだった。笑顔や人を思いやるやさしさは、世界共通で言葉がなくても通じるんだということをこの体験を通して学んだ。虫のことを勉強できたと同時にそれ以上のことを今回のボランティアで学べたと思う。アースウォッチの方をはじめ、お世話になった方々、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼させていただきます。

